平成21年度
高崎市P連
かわら版
第3号

高崎市ＰＴＡ連合会
児童・生徒30126人
編　集　情報委員会
発　行　高崎市P連
平成21年4月1日現在

高崎市PTA連合会

市P連　ホームページ　http//www. takasaki-pta-net.com/

親子のふれあい談特集

「全国大会」

七月の初めに息子の所属するサッカーチームが八月に行われる全国大会への出場を決めた。持久全国大会へのチームと戦うために、筋力強化とスピードを目標としたメニューを練習に取り入れた。丸一ヶ月の練習の成果を発揮する場として全国大会を目指すことになったが、そもそも加入の動機は、息子の体力向上と保護者同士の交流だった。入念に行った試合の表情に満ちた選手の大声援。そして、ベンチに入りきれなかった選手たちの悔しさ。全国大会という大舞台に立つことの重みを感じた。

≪高南中≫

「親子で料理」

今年の夏休みも我が家は伊豆へキャンプに行ってきました。毎年同じ場所に行きますが、今年は主人と娘が料理をしてくれました。

「今日は何を作ってくれるの？」と聞くと、「ヒミツ！」と言われ、ワクワクしながら待っていました。

出てきたのは、ホイル焼きでした。

「ホイル焼きって何？」と聞くと、「ホイルに包んで焼くんだよ。」と教えてくれました。

ホイルを開けると、とてもいい香りがしました。

「おいしそう！」と言うと、娘は「ホイル焼きは、ホイルを開けるまでのワクワクがいいんだよ。」と言いました。

なるほどと思いました。

≪佐野小≫

「自然とのふれあい」

私は自営業を営んでいるので子供と休みが合うことはなかなかできません。

今回は少しでも子供と自然とのふれあいをと思い、キャンプに行きました。

夏休みの最後の思い出にと、広い内川にて行われる投網大会に参加しました。

投網は、のきなみ不調。

しかし、大きな魚を捕まえた人には賞品が出るとのことで、子供たちは真剣に川の流れを見つめていました。

結果は、残念ながら賞品をもらえる人はいませんでした。

帰りの車の中では、「来年こそは！」と言っていました。

≪中央小流域≫

「宝物の思い出」

二人の息子がだんだんと成長し、夏休みの思い出が増えていくことを嬉しく思う反面、少し寂しくもあります。

毎年、夏休みの最後の日曜日に、家族で川遊びに行くことが恒例となっています。

今年は、長男が高校受験のため、参加できるかどうか心配でしたが、なんとか時間を作ってくれました。

次男は、中学生になり、友達と遊ぶ方が楽しいようで、誘っても断られるかもしれないと思っていましたが、意外にも「行く」と言ってくれました。

二人とも、小さい頃から川遊びが大好きで、毎年この日を楽しみにしていました。

今年は、網を投げる練習をしたり、魚を捕まえるコツを教えたりと、親子で楽しい時間を過ごすことができました。

来年は、長男が受験生なので、参加できるかどうか分かりませんが、また家族で来られたらいいなと思っています。

≪新町中≫

「笑顔の源」

赤、白、紫、ピンク、・・色とりどりの花を次々と咲かせ、校舎の”ペチュニア”や”ペラゴニウム”を育ててきました。

朝に夕に顔にかけた回数も数知れず、小慢の我が校自慢の花壇。

今年も例年通りプランターに植えた苗が大きく育ち、五月の運動会の頃には、花壇一面に花が咲き誇りました。

今年は、特に気候に恵まれ、花の成長が早く、例年以上に美しい花壇になりました。

子供たちも、毎日水やりをしながら、花の成長を楽しみにしていました。

中には、花壇の前で記念写真を撮る子供たちの姿も見られました。

来年も、美しい花壇を目指して、子供たちと一緒に花を育てていきたいと思います。

≪矢中小≫

「月あかり」

八月七日就寝時間。

明かりを消すと、窓から差し込む月の光が目に入った。

昨夜は真っ暗な夜空だったのに、今日は雲一つない晴れ渡った夜空を見上げた。

大きく輝く月を見て、慣れ親しんだ風景が月あかりに照らされ、幻想的に見えた。

非日常的な出来事を娘と共有できたことを嬉しく思った。

≪佐野小≫

「ちょっと成長した？」

「俺は行かないよ！」

二年生になる上の息子に、夏休みに何処かへ行こうと誘ったときの返事である。

三年生の時は、家族旅行に行くのを楽しみにしていたのに。

中学生になると、友達と遊ぶ方が楽しいのかなぁ？と聞いてみたが、「別に。」とそっけない返事。

寂しいような、ホッとしたような、複雑な気持ちになった。

≪京ヶ島小≫

「日本語の猛特訓！」

早いもので娘のジンキーがフィリピンから転校してきて一年が経ちました。

日本に来たばかりの時はカタコトさえも話せず、むろん読む事も書く事もできなかった。

通い続けて初めての夏休みを休むことなく学校へ行ったのですが、宿題の多さに驚いた。

日記、読書感想文、自由研究、絵画、ポスター、工作、習字、漢字練習、計算練習、音読、ドリル、プリント…。

宿題の多さに驚いたと同時に、日本語の壁に立ち向かっていく娘の姿に感動した。

言葉の壁に努力しながら克服しようとしている娘の姿はまさに日本人鬼の頑張りを見習わなければと思った。

日本語を勉強しながら何とか課題を提出しようと考えて取り組んでいる娘の姿はまさに日本人鬼の頑張りを見習わなければと思った。

≪新町第一小≫

「久しぶりの親子のふれあい」

今年は、長男が中学生になり、夫婦共働きで遠出の為、部活動が土日ともあり、家族全員で出かけることができなくなってしまいました。

そこで、長男の部活動がない日を選んで、家族全員で楽しめる場所へ行こうと計画しました。

行き先は、子供たちが小さい頃によく遊びに行った山当ての遊園地へ行くことにしました。

前日から、子供たちは、何に乗ろうかと話し合ったり、お弁当は何にしようかと相談したりと、楽しそうにしていました。

当日は、朝早くから出発し、まずは、子供たちが一番楽しみにしていたジェットコースターに乗りました。

乗り終わった後の子供たちの興奮した様子を見て、連れてきてよかったと思いました。

その後も、観覧車やメリーゴーランドなど、子供たちが小さい頃に乗った懐かしい乗り物に乗りました。

子供たちは、「昔乗ったね。」と言いながら、とても楽しそうにしていました。

お昼は、園内のレストランで食べました。

食後は、ゆっくりと園内を散歩しながら、家族全員で写真を撮りました。

帰りの車の中では、子供たちは疲れて寝てしまいましたが、とても満足そうな寝顔でした。

≪矢中小≫

平成二十一年度 高崎市P連本部役員選出推薦委員会

・第一ブロック
戸部勝行（高小）
中島友明（下室田小）

・第二ブロック
根岸喜代志（国府小）
石井美登（群馬南中）

・第三ブロック
関壮平（塚沢小）
小口尋樹（第一中）

・第四ブロック
北形信也（京ヶ島小）
福田陽一（新町中）

・前年度推薦委員
若山巳（退任者）

・市P連担当校長
山崎貞幸（北小）
高井郁朗（倉賀野中）

・市P連本部役員
土谷松實（以上敬称略）

第一回推薦委員会は、十一月十一日（水）に高崎市中央公民館で開催いたします。

第四ブロック　ＰＴＡ行事

「親子読書」

我が小川小学校では、毎年読書週間に合わせて、親子読書を実施しています。今年は、10月1日から31日までの1か月間、図書館の協力を得て、読書週間の始まる前に、各家庭に読書カードを配布しました。読書カードには、読んだ本の題名や感想を記入するようになっています。

「花いっぱいプロジェクト」

矢中小ＰＴＡでは、花いっぱいプロジェクトに取り組んでいます。毎年、春と秋に花の苗を植えています。今年の春は、パンジーやチューリップなどを植えました。子どもたちも、休み時間に水やりをしたり、花の様子を観察したりしています。

「子どもたちを守るパトロール」

「修学旅行」

５月に予定されていた修学旅行は、新型インフルエンザの影響で延期されました。８月に予定されていた修学旅行は、９月に予定されていた修学旅行は、９月に予定されていた修学旅行は、９